



## 間投詞「あの」の中心的機能(二〇一二年度卒業論文 要旨集)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 北海道教育大学国語国文学会・札幌 公開日: 2014-11-11 キーワード: 作成者: 佐々木, 美雨 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.32150/00007432">https://doi.org/10.32150/00007432</a>

## 間投詞「あの」の中心的機能

日本語学研究室 九四四一 佐々木美雨

本研究の目的は、話し言葉でのみ出現する間投詞「あの」の機能の特徴を明らかにすることである。テレビ番組を文字化した談話資料を用いて、出現位置を調査し、先行研究で挙げられた機能を持つのか、どのような特徴があるのかを考察した。

「あの」の各用例を先行研究で挙げられた機能に分類した結果、先行研究で挙げられた機能には重複があることが分かった。本研究では、機能を次の三つに分けることとした。発話権を獲得しようとするときや発話を続けたいときに出現する「発話権の獲得・維持」、新情報を提示する場面、具体的には話題の変更・補足説明・別表現に言い換える際に出現する「発話内容の切り替え・補足」、相手に対し配慮している、あるいはより適切な表現を探していることを示す際に出現する「配慮表現・表現の検討」である。

本研究では、「あの」は複数の機能を持ち得ること、指示詞との関連性が強い「あの」が出現することの二点を明らかにした。二点目については、「あの」の直後に名詞が発話される場合は、映像を見ているときなど話し手が具体的に指示できるものがある場面で出現しやすく、聞き手は「あの」に指示機能があると解釈しやすいという特徴及び「発話内容の切り替え・補足」の機能を持つ場合が多いという特徴があることを明らかにした。